

**緊急雇用創出基金事業「観光サービス・商品企画開発人材育成事業」における
「大阪府観光動向調査」の調査結果 <概要>**

1 調査の目的

近年、多様化する旅行客のニーズに対応するため、従来のパック旅行にはなかったような、地元ならではの魅力を組み込んだ地域主導型（着地型）の旅行商品が注目されています。

大阪府では、独自性の高い旅行商品を企画できる人材を育成することを目的として、平成24年度に「観光サービス・商品企画開発人材育成事業」（緊急雇用創出基金を活用）を実施し、人材育成メニューの一環として、府内の観光施設等の来訪者の動向を把握するための調査を行いました。

2 調査の概要

○調査受託者 株式会社Jプロデュース

○調査時期 平成24年9月22日～平成25年2月17日

○調査対象

- ・ 府内観光施設を訪れた外国人を含む観光客
- ・ 府内宿泊施設に宿泊した外国人を含む観光客
- ・ 関西国際空港を利用した外国人観光客

○調査地点

*本調査では、大阪市内の観光施設及び宿泊施設は調査地点に含みません。

- ・ 府内観光施設のべ48箇所
- ・ 府内宿泊施設のべ24箇所
- ・ 関西国際空港国際線出発ロビー周辺

○調査方法 地域人材訓練生による無作為聞き取り調査
宿泊施設での調査は、フロントでの調査票配布及び回収により実施。

3 有効回答数及び回答者属性

○府内観光施設 4,189人

男女別構成 … 男性61%、女性39%

居住地構成 … 府外在住19.4%、府内在住80.6%

○府内宿泊施設 919人

男女別構成 … 男性66%、女性33%

居住地構成 … 府外在住91.0%、府内在住9.0%

○関西国際空港 291人

男女別構成 … 男性54%、女性46%

居住地構成 … 台湾25%、韓国22%、中国11%、香港11%、
その他31%

4 府内観光施設の訪問客の動向

*本調査では、大阪市内の観光施設は調査地点に含まれていません。

★府内在住者の訪問率が高い

訪問客の居住地は、府外在住者が19.4%、府内在住者が80.6%であった。

また、府外在住者のうち、関西地方からの訪問客は77%であった。

★中高年層の観光客の割合が高い

訪問客の年齢構成は、40歳未満が15.5%、40歳以上が84.5%であった。

★府外からの訪問客の特徴

・訪問頻度では年に6回以上が46%と最も多く、次いで年に3~5回程度が15%であった。

・訪問目的は、観光・休暇が68%と最も多く、次いでその他が29%であった。

・府内での滞在日数は1日が83%であり、宿泊を伴わない観光客が多かった。

また、宿泊した（又は予定している）訪問客のうち、大阪市内での宿泊予定は56%で、次いで北大阪地域25%、泉州地域16%であった。

・訪問客の府内での訪問地点数は、仕事先、学校、実家・知人宅を除き、平均1.75地点であった。

★大阪府内での観光消費額

調査結果報告書13ページをご覧ください。

★大阪の魅力・再訪の意向

大阪の魅力としては、府外からの訪問客及び府内からの訪問客ともに、飲食店やショッピングの充実が最も多く挙げられ、次いで「旧跡や歴史的施設が多い」が続いている。

また、訪問客の8割以上が大阪への再訪を希望している。

★大阪の観光に期待すること

府外からの訪問客では、「案内表示の充実・整備」が27%と最も多く、次いで「魅力ある観光ポイントづくり」が22%、「多彩な情報発信」が22%であった。

また、府内からの訪問客では、「魅力ある観光ポイントづくり」が34%と最も多く、次いで「多彩な情報発信」25%、「案内表示の充実・整備」が21%であった。

5 府内宿泊施設の宿泊客の動向

*本調査では、大阪市内の観光施設は調査地点に含まれていません。

★府外からの宿泊客の特徴

・年齢構成は、30歳台から60歳台の各年台で20%前後であり、あまり大きな差は見られなかった。

・居住地構成は、関東地方が39%と最も多く、次いで中部地方17%、中国地方11%、大阪以外の関西地方11%であった。

・訪問頻度は、年1~2回が24%と最も多く、「今回は初めて」「無回答」は13%となっており、再訪の頻度が高いことが窺える。

・訪問目的は、ビジネス・商用が40%、次いで観光・休暇が26%であった。

★大阪府内での観光消費額

調査結果報告書 52 ページをご覧ください。

6 関西国際空港を利用した外国人訪問客の動向

★日本への訪問回数、旅行の目的

日本への訪問回数は、初めてが 33%、2 回目以上は 67%であった。

また、旅行目的は、観光・休暇が 71%と最も多かった。

★日本での滞在日数

日本での滞在日数は、4～6 日が 45%と最も多く、次いで 7～13 日が 25%、3 日以内が 14%であった。

★日本での訪問先

複数回答で、訪問先としては「大阪」が 85%と最も多く、次いで、「京都」が 63%、「神戸」が 28%と続き、「東京」が 13%であった。

★大阪への訪問回数

大阪への訪問回数は、初めてが 55%、2 回目以上は 45%であった。

※このほかの調査結果については、「調査結果報告書」をご覧ください。